

## 女性研究者と家族が輝くオンデマンド支援

(実施期間：平成 20～22 年度)

実施機関：静岡大学（総括責任者：伊東 幸宏（興 直孝））

## プロジェクトの概要

女性研究者の活躍促進について、男女共同参画憲章の制定、数値目標を明記した行動計画の策定、シンポジウム・セミナーの開催等により、本学の教職員の意識改革を図る。また、女性研究者が、キャリアのステップアップの過程において、育児・介護の負担により研究活動の中断を余儀なくされること、研究者の道を断念することのないよう、研究と育児・介護の両立を支援する。併せて、女性研究者の研究内容・形態、家庭環境等に応じ、最も必要な支援を必要な時に、オンデマンドで提供するための体制を構築する。また、メンター制度の整備や、女子学生エンカレッジセミナーなどの充実を図るとともに、附属学校園を拠点とした理数好きの子どもを増やすための取組を展開し、女性研究者の裾野を拡大する。さらに、近隣大学、研究機関、静岡県をはじめとする地方公共団体等と協力してこれらの取組を推進し、地域への普及・浸透を図る。

## (1) 評価項目

| 総合評価 | 目標達成度 | システム改革<br>の成果 | 取組 | 波及効果 | 実施体制 | 実施期間終了後における取組 |
|------|-------|---------------|----|------|------|---------------|
| S    | a     | s             | s  | a    | a    | a             |

総合評価：S（所期の計画を超えた取組が行われている）

## (2) 評価コメント

女性研究者の多様なニーズに応える「オンデマンド支援」による支援システムを確立し、利用者の細かいニーズを汲み取った多彩な取組を進めており高く評価できる。所期の目標もほぼ達成しており、多目的保育施設の開設、出前相談の実施、ポジティブアクションとして女性研究者採用加速システムの導入など所期の計画を超えた取組を実施している。実施期間終了後も、学長のリーダーシップの下、大型予算を確保し、多くの取組を継続しており、今後の発展が期待できる。

**目標達成度：**意識改革、研究環境改善、裾野拡大、女性研究者支援システム構築、女性研究者増等、当初計画したすべての項目を実施し、所期の目標を達成しており評価できる。

**システム改革の成果：**女性研究者の多様なニーズに応える「オンデマンド支援」は、両立支援のための特色豊かな取組であり、システムとして構築、確立したことは高く評価できる。

**取組：**取組は、出前相談、夏季休暇中の学童保育、保育施設の整備など多岐にわたっており、女性研究者のニーズを踏まえたものであり、利用実績も高く評価できる。

**波及効果：**「オンデマンド支援」は、女性研究者が少ない地域の大学において応用可能な取組であり、すでに6機関からの視察訪問を受け入れており、波及効果の高い取組であり評価できる。

**実施体制：**学長のリーダーシップの下、部局、事務局を巻き込んだ全学的な取組が行われ、また、男女共同参画推進室長（女性副学長）の意見が機関の方針決定に反映される仕組みも確立されて

おり、取組の提案、制度化が効率的に行われており評価できる。

**実施期間終了後における取組**：実施期間終了後も、取組の継続性が担保されており、育児・介護中の男性教職員・学生にも支援の適用が拡大される方向へ進んでおり評価できる。また、女性研究者支援の予算措置については、学長裁量経費から通常予算への移管が図られており、安定的な措置が行われている。今後は、女性研究者の採用が加速されることを期待する。